

落谷虹児「花嫁人形」作詩発表100周年記念

# 虹児の花嫁人形展

～悠久の花嫁衣装とともに～

いにしえの時代を越えて

虹児の想いを永遠に紡ぐ…

金襴 緞子の  
世帯しめながら



花嫁 御寮は

なぜ泣くのたる

虹児

2024年

2025年

10月1日 火 - 1月26日 日

開館時間／午前9時～午後5時(入館券の販売は午後4時30分までとなります。)

休館日／月曜日(但し、祝日の場合は開館し、翌火曜日を振替休館といたします。)

入館料／一般・大学生550円(有料入館者20名様以上は団体料金440円)  
高校生230円、小・中学生120円

※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(受付で手帳をご提示ください。)

主催／新発田市、新発田市教育委員会、落谷虹児記念館



KOJIFUKIYA MEMORIAL MUSEUM OF ART

落谷虹児記念館

〒957-0053 新潟県新発田市中央町4丁目11-7 電話&FAX 0254-23-1013

※10月13日(日)『第25回全国「花嫁人形」合唱コンクール』当日は無料開放いたします。



「花嫁」  
[1968年(昭和43年)]

“きんらんどんすの帯しめながら  
花嫁御寮は なぜ泣くのだろ”

これは落谷虹児が作った童謡「花嫁人形」の一節です。幼い頃の甘酸っぱい感傷をうたった日本童謡の代表作として全国で愛唱されています。

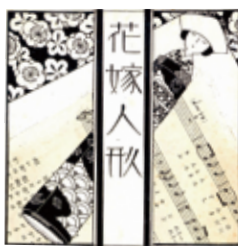
虹児の作風は、故郷の人情と風俗、夭折した母への思慕などから強い影響を受けたといわれます。また「花嫁人形」は、母への想いに加わり、新潟で過ごした少年時代に舞妓に抱いた淡い恋をイメージに作られたものだともいわれています。

「花嫁人形」作詩発表100周年を記念し、初公開となる新たに発見された「花嫁人形」の原画、詩画集『花嫁人形』の挿絵、歌碑建設にまつわる資料などを展示します。さらに展覧会に彩りを添える、花嫁衣裳を展示します。

故郷新発田・新潟の情緒と風土がはぐくんだ虹児の代表作「花嫁人形」の抒情の世界をお楽しみください。



『詩画集 花嫁人形』  
[1935年(昭和10年)]



『詩画集 花嫁人形』  
(扉絵)



『詩画集 花嫁人形』  
「花嫁人形」(挿絵)



『詩画集 花嫁人形』  
「とほせんぼ」(挿絵)